

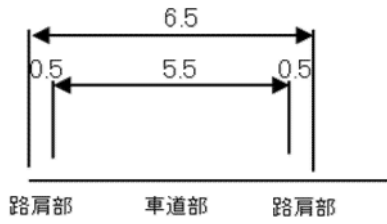
## 道路事業事前評価調査書

路線・河川等名	一般国道312号 (栃谷 <sup>とちだに</sup> )	事業名	防災・安全交付金事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	京丹後市久美浜町栃谷 地内		
事業概要	目的	<p>一般国道312号は、京都府宮津市を起点とし、兵庫県姫路市に至る延長約24.2kmの幹線道路で、京都府北部においては、宮津市・与謝野町を経て京丹後市を東西に結ぶ重要な経路である。</p> <p>当該箇所周辺には、久美浜中学校、久美浜駅、久美浜病院等の公共施設が集約されているが、歩道が未整備であることから歩行者や自転車が通過車両と輻輳し、非常に危険な状態となっている。</p> <p>そのため、歩道等を整備することにより安全な歩行空間を確保するものである。</p>			
	内容	<p>整備延長：L=860m</p> <p>計画幅員：W=6.5(10.5)m 2車線 歩道：片側2.5m</p> <p>事業費：約3.3億円</p>			
	上位計画等	<p>明日の京都 丹後地域振興計画</p> <p>京丹後市通学路交通安全プログラム</p>			
事業の必要性	事業を巡る社会経済情勢及び地元情勢等	<p>○自動車交通量 7,662台/日 (H27センサス)</p> <p>○自転車交通量 13台/12時間 (H27センサス)</p> <p>○歩行者交通量 12人/12時間 (H27センサス) ※今回事業箇所の近接地点での数値</p> <p>○歩道が未整備であり、歩行者や自転車は路肩を通行しており、安全で円滑な通行ができない状況。</p> <p>○児童、生徒約25名が付近道路を通学利用しており、京丹後市通学路交通安全プログラムの要対策箇所に位置付けられていることから、早期の歩道整備が求められている。</p>			
事業の有効性	事業の効果及び費用対便益等	<p>○歩道の拡幅により、通学路における歩行者・自転車の安全の確保及び円滑な自動車交通を確保する。</p> <p>○幅2.5mの歩道を設置し、誰もが安心・安全で円滑に移動できる歩行空間を確保する。</p>			
事業の効率性等	コスト縮減代替案立案等の可能性及び良好な環境形成・保全	<p>○バリアフリー構造の歩道として整備し、歩行者及び自転車の交通環境が改善される。</p> <p>○歩道拡幅と併せて車道を拡幅することで、交通の円滑化が図られる。</p> <p>○二次製品を積極的に使用しコスト縮減を図る。</p>			
	総合評価	<p>本事業は、歩行者・自転車の安全性の向上を図るために、新規着手の必要がある。</p>			

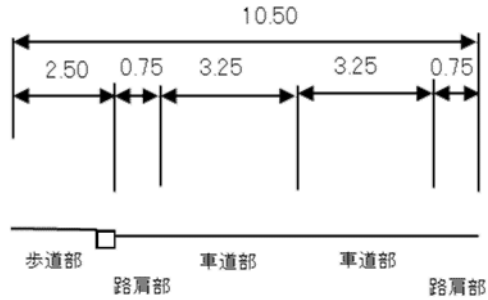
【位置図】



【標準横断図 (改良前)】 (単位:m)



【標準横断図 (改良後)】 (単位:m)



【現況写真】



『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	令和元年 7月 12日		
		作成部署	建設交通部 道路管理課		
事業名	一般国道312号 防災・安全交付金事業	地区名	京丹後市久美浜町柘谷 地内		
概算事業費	約3.3億円	事業期間	2019年度～		
事業概要	京丹後市通学路交通安全プログラムに基づき、車道拡幅及び歩道の整備を行うことにより、円滑な車両交通の確保と安全な歩行空間を確保するものである。 【歩道整備 L=860m W=6.5 (10.5) m】				
目指すべき環境像	現道周辺は、田園風景の広がる自然豊かな地域であるため、地形の改変を極力避け、現状の自然環境を保持する。				
関連する公共事業	特になし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO <sub>2</sub> 排出量等)	<p>施工地は、山と田園に囲まれた自然豊かな箇所であるため、これらの自然環境を維持・保全が必要となる。</p> <p>久美浜湾で指定希少野生生物が確認されている。</p>	<p>地形改変を最小限に抑えることにより、自然環境の保全に努める。</p> <p>野生生物の個体の生息又は生育への環境を最小限となるよう配慮する。</p>	3	
	地形・地質			○	3
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種			○	
	生態系				
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	<p>当該箇所は「通学路交通安全プログラム」の要対策箇所であり、また主要施設が集約しているが、安全な歩行空間を確保する必要がある。</p> <p>事業の実施により施工中騒音・振動の発生が予測されるため、発生を抑制する。</p>	<p>バリアフリー構造の歩道を設置し、誰もが安全に通行できる歩行空間を整備する。</p> <p>早朝や夜間の工事を極力避けるとともに低振動、低騒音の建設機械を使用する。</p>	5	
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動			○	3
	廃棄物・リサイクル				
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	<p>現道周辺は、田園風景の広がる自然豊かな地域であるため、極力景観への影響を避ける。</p> <p>樹木の伐採や地形の改変を極力避け、現状の自然環境を保持するような道路線形とする。</p>		3	
	里山の保全				
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他				
外部評価					